

会 議 録

- 1 会 議 名 令和4年度博物館協議会
- 2 議 題 (1) 令和3年度の事業実績について
(2) 令和3年度の博物館評価について
(3) 令和4年度の事業計画について
- 3 開 催 日 時 令和4年9月13日(水) 10時00分～12時30分
- 4 開 催 場 所 北九州市立自然史・歴史博物館 3階講座室
(Webによるオンライン形式を併用)
- 5 出席者氏名 [協議会委員] 阿部会長、岩松副会長、井上委員、緒方委員、
川津委員、杉山委員、染川委員、富田委員、針尾委員、
三島委員
(欠席:吉田委員、染川・針尾両委員はオンライン出席)
[事務局] 伊澤館長、月成副館長、真鍋学芸担当部長、
久保田普及課長、日比野歴史課長 ほか

6 会 議 経 過 (発 言 内 容)

議題(1) 令和3年度の事業実績について

【事務局説明】

- 令和3年度の事業実績について、令和3年度博物館年報に沿って報告をおこなった。

【委員意見】

- ホロタイプ標本の収集数が際立っていて、特別な成果と思う。
- 博物館セカンドスクール事業のうち特に不登校生徒に対するオンライン授業の実施については特筆されるべきと思うし、詳細を知りたい。

議題(2) 「令和3年度の博物館評価について」

【事務局説明】

- 博物館(事務局)の自己評価については、事前に各委員に送付しているので、説明を省略した。

【外部評価小委員会説明】

- 外部評価小委員会案についても事前に送付し、各委員が検討し、意見を提出している。各委員の意見を中心に、外部評価小委員会委員長（協議会会長）より、説明がなされた。

【委員意見】

- 業務量を考えるとき、職員のメンタルヘルスに対する取り組みの必要性についても「総合評価」の意見として追加してほしい。
- 対前年度比だけでなく、目標値をできるだけ定め、1年間の活動の総量のなかでバランスをとり、それぞれの目標値を適切に変更しながら、評価を実施すべきと思う。ワークライフバランスの観点からも必要である。

議題（3）「令和4年度の事業計画について」

【事務局説明】

- 令和4年度の事業計画について、①組織・運営体制、②予算、③展示会・イベント等（博物館開館20周年記念事業を含む）の説明をおこなった。

【委員意見】

- 市民・利用者がふだん疑問に思っていること、知りたいことなどを事前に募集し、調査・研究によって掘り下げた成果をもとに、応答するような取り組みをおこなうと、その興味や関心の入口を広げ、新たな利用や来館を促進し、満足度を高めることにつながるのではないか。
- 秋の特別展「トイレのうんちく」の開催を前に、博物館内のトイレで様々な「うんちく」を親しみやすいかたちで紹介している試みは良いと思う。
- 開館20周年記念事業については、①他館の例も参考にして、かつての来館者の思い出を文章＋写真などで投稿していただく、②名誉館員などのオーラル・ヒストリーを聞き取るなどの取り組みが有効ではないか。
- アフターコロナも見据えて、多言語化の現状を確認してほしい。
→ 「ぽけっと学芸員」による展示解説をおこなっている、ホームページの多言語化は早期に実施したい（事務局）。
- 事前予約制は継続するかどうか教えてほしい。
→ オンラインの事前予約制については、メリットとデメリットの両方があり、利用者の意見もいろいろなので、慎重に検討したい（事務局）。
- 新科学館との連携の取り組みについて知りたい。
→ 事前予約制の方法が違って難しい面もあるが、特別展の際の共通券やスタンプラリーの実施などを検討している（事務局）。
- 博物館法の改正があり、来年4月から施行される。博物館の活動として、これまでの資料収集・保存、調査・研究、展示や教育普及に加えて、「文化観光」が加わった。このことがどのような意味を持つか、協議会としても注視していきたい。